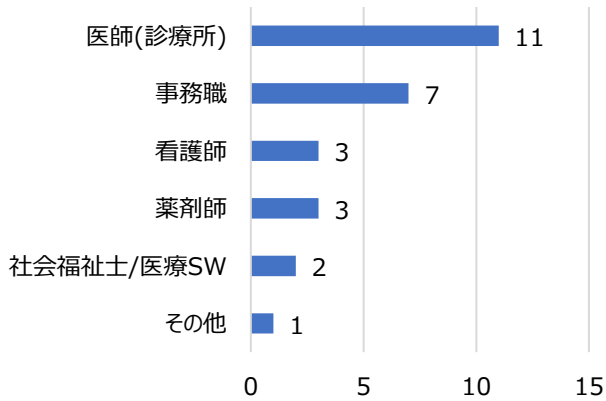


## アンケート集計結果

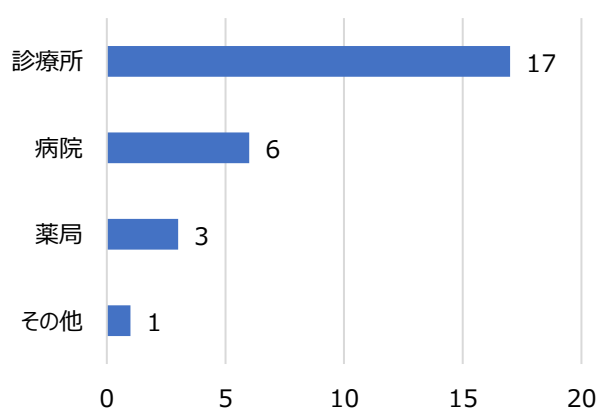
- ・ 視聴期間 令和6年6月15日(土)～6月28日(金)
- ・ アンケート回答者数27名(参加申込者数133名、視聴回数230回)

### 1. ご自身について

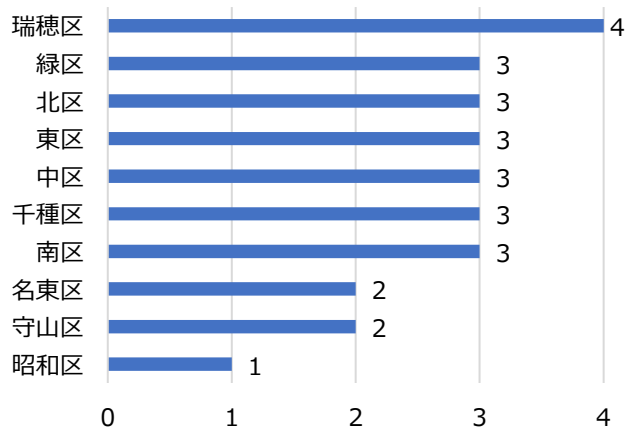
#### ①職種



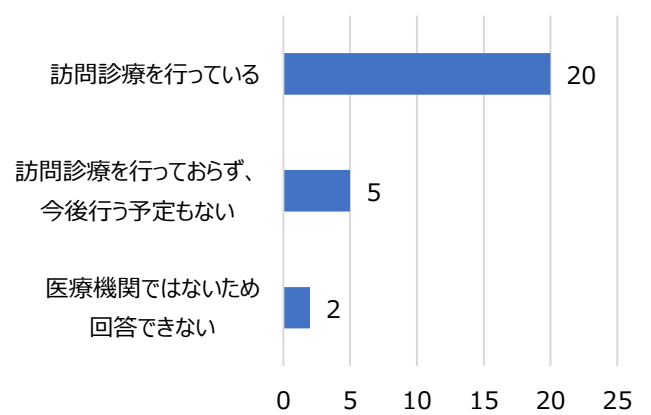
#### ②所属する医療機関(事業所)の種類



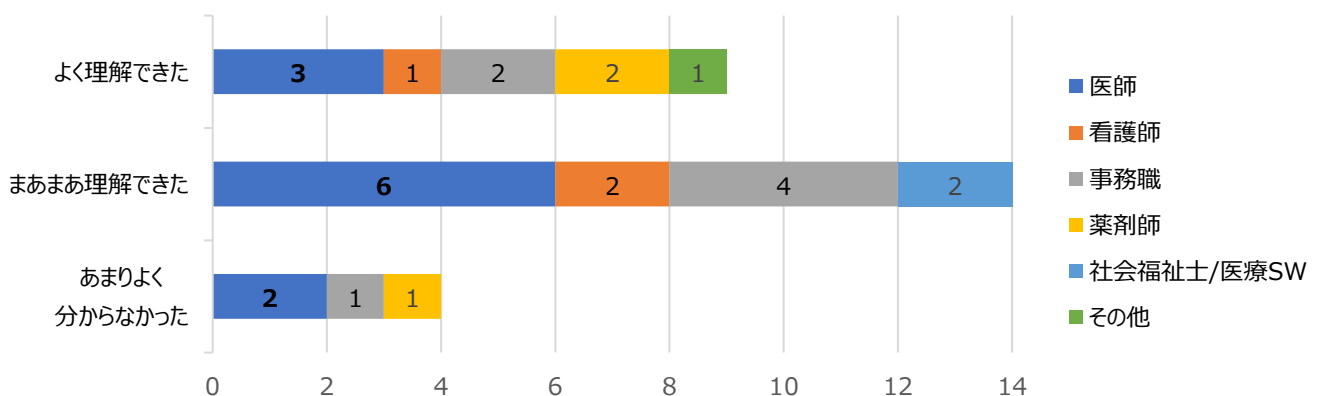
#### ③所属する医療機関(事業所)の所在区



#### ④訪問診療の実施状況



### 2. 講義内容について



## 2 の回答理由（一部抜粋）

### 「よく理解できた」（記述回答数 6 / 9）

医師：スライド資料あり、後から見直しや講師の説明がわかりやすかった

事務職：新設のポイントも赤マルで囲ってあり、見返した時に見やすかった / 改訂箇所が多い本年であったが、深く理解することができた

薬剤師：医師の訪問における診療報酬がわかりやすく説明されていた

### 「まあまあ理解できた」（記述回答数 12 / 14）

医師：改正された新たな点数がわかった / 内容が多すぎるので、動画を一回みただけでは困難 / 在宅、訪問診療が年々高度になり、また個別化しているために、診療報酬の算定要件も細分化することは理解しているものの、自院の診療内容でどの算定が可能であるのか、複雑すぎてよくわからなくなっているのが現状であるため / 変更点を重点的に教えて欲しかった

看護師：図や表で示されていてわかりやすかった

事務職：資料は図解もありわかり易いと思いましたが、講義で割愛が多いと感じた

### 「あまりよく分からなかった」（3 / 4）

医師：訪問診療の診療報酬算定が複雑 / これからやる人向けなのか、もうやってる人向けなのか？在宅支援診療所向けなのか？よく分からない。自分が関係あるところと、全く関係ないところが入り混じっていた

薬剤師：訪問診療についての内容のため、詳しく知らない事が多かった

## 3. 「在宅医療研修会」について

### 内容に関するご意見

点数における NG 例を具体的なおしえてほしい / 今回の研修を年一回程度開催希望。診療報酬請求具体例もわかりやすいので、今後もお願いしたい / 症例をあげて、解説していただくと具体的でわかりやすい / 在宅の BCP、ACP / はち丸についての活用や登録方法等についての勉強会があってもよい / 訪問診療の現場の見学をしてみたい / 在宅で使用可能な薬剤や訪点・返戻が多い薬剤や検査等についての研修 / 訪問診療と同日往診や往診前の電話再診、緊急往診の定義などこまめが算定できるのか訪問診療あるあるが知りたい

### 開催方法に関するご意見

対面でやった方が良いのではないのでしょうか / このよう動画視聴形式は時間を融通しやすいので大変助かる / 動画視聴期間はもっと長くしてほしい / いつでも視聴できるようにしてほしい